

町の魅力を再発見！

富士見町のシテイプロモーション事業

問 総務課 企画統計係 **ROU-GOMU**

富士見町では平成30年度からシテイプロモーション事業を推進しています。今年度は「富士見町シテイプロモーション研究会（仮称）」を6回に渡って開催し、「住み続けたい町」について考えることを軸に、ユニークな視点で様々な新しい取り組みをしている有識者と、参加いただいた町民の方々の意見交換を行いました。

研究会から派生した様々な活動が町の資産となっていく、町の魅力、町への想いを町の人たちが自発的に発信し、その魅力に魅了された人々が富士見町の中からも外からも仲間に加わっていく、そんなストーリーを構想していきます。

●シテイプロモーションとは？

地域の魅力を探し出し、地域イメージとして確立させるための自治体の「営業活動」のことです。マスメディアでの宣伝や、「ゆるキャラ」を作ったりするのも『シテイプロモーション』の一つの事例です。



▲「すずちゃん」町の色々な所に登場しています

第1回 基本的な考え方と方法

第1回は、本年度の研究会を監修する会田大也さんが、昨年度の活動説明や、今年度の研究会の方向性についての講義を行いました。

講義を踏まえて、有識者を含めた参加者同士でワールドカフェ方式（少数での対話方式）のディスカッションを行い、参加者の方々から様々な意見を発表していただきました。



第2回 企画・戦略の立て方

第2回は、地域暮らしの可能性について多くの取材・執筆・企画をされている磯木淳寛さんから、ご自身や地域の事例について解説いただき、参加者はそれらの事例や富士見町の現状について、新しい視点で問題をとらえ、そこから企画、戦略を立てることを実践しました。

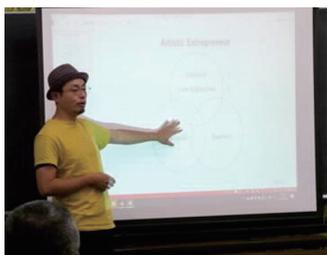
▲戦略をみんなで作ります



第3回 仕事・企業、そしてお金について

第3回は、大手証券会社に勤務し、お金をテーマに世界40カ国を回る渡邊賢太郎さんに、多数の創業支援などのユニークな経験についてお話を頂きました。

今までの経験から得た「お金とは信用の変換」という概念や、個人の「好き」や「困りごと」から仲間と創造する新しい起業についてワークショップで実践しました。



▲斬新な切り口の講師陣 視野の広がるお話です

第4回 町の魅力を再認識

第4回は、具体的な取り組みへ向け、編集者としてアート・デザイン・福祉・地域など様々なプロジェクトに携わる多田智美さんより、研究会になぜ参加しているのかについて改めて意識するレクチャーを受けたのち、参加者で書いた富士見町の大きな地図の上に様々なイベントや一押しスポットを挙げました。

住む地域や年齢によって挙げられる情報は様々で、町のイベントと魅力的なスポットの多さを改めて確認しました。



▲町の魅力がどんどん挙がります

第5回 富士見町に 第6回 必要な取り組みは？

第5回、第6回研究会では全ての研究会に参加いただいている会田大也さん、今中隆介さんに進行、助言などをしていただきながら、これまでの研究会を経て参加者の方々が感じている問題や興味から、富士見町のシティプロモーション



▲様々な切り口のテーマが発表されました

シヨンにつながるような活動について発表いただきました。以前の研究会からすでにスタートしている活動なども含め、様々なテーマについて多数の発表がありました。



今回ご協力いただいた 有識者の方々



いまなか りゆうすけ
今中 隆介 さん
秋田公立美術大学
美術部 教授



あいだ だいや
会田 大也 さん
ミュージアム・
エドゥケーター



ただ ともみ
多田 智美 さん
編集者、(株)MUESUM代表



いそき あつひろ
磯木 淳寛 さん
(一社)picobirds代表



わたなべ けんたろう
渡邊 賢太郎 さん
おせっかい社かける
共同代表

多大なご協力を
ありがとうございました

これまでの研究会の様子は
WEBサイトでもご覧いただけます。

<http://cdc.jp/fujimimachi/>

こちらからも
確認できます



シティプロモーションの これから

全6回の研究会を経て、同じ想いを共有する仲間が集まり、いくつかのグループが立ち上がりました。

それぞれのグループは今後、具体的な目標や課題に対して次年度以降も活動をしていく予定です。これらの活動については、3月下旬に報告会を開催し、次年度へ向けて発表する予定です。これまで研究会に参加されていない方も、これまでの活動や想いに興味や共感があれば、それぞれの活動に参加してみませんか。

